

政策評価書（要旨）（事前の事業評価）

事業名	潜水艦（2,900トン型SS）	担当部局	防衛局計画課
政策分野	防衛力整備	実施時期	15年6月～8月

事業の内容	<p>対水上レーダー、ソナー等の技術進歩に対応して、水中での航続時間を延ばすことを可能とする新たな推進システムや艦の運動及び動力の管制を行う艦制御システム及び武器システムを搭載し、隠密性の確保と省人化を図った潜水艦(2,900トン型SS)を平成16年度に1隻整備する。</p>	16	17	18	19	20	<p>完了年度：H20年度 経費総額：約604億円</p>
		調達 ←				配備 →	
所要経費	約604億円（後年度負担額を含む。）						

評価の内容

事業の目的	<p>対水上レーダー、ソナー等の技術進歩に対応して水中での航続時間を延ばすことを可能とする新推進システムや艦制御システム及び武器システムを搭載した、隠密性の確保と省人化を図った潜水艦を整備し、我が国防衛の任務を遂行する。</p>	事業実施の効果・時期	<p>水中での航続時間を延ばし、省人化を図った潜水艦の装備により、対水上レーダー、ソナー等に発見されることなく我が国防衛の任務の遂行が可能となり、周辺海域の防衛能力及び海上交通の安全確保能力を維持向上させる効果が得られる。 16年度に調達を開始し、20年度に就役予定。</p>
事業の必要性・適正性	<p>平成20年度に現有の潜水艦「はるしお」1隻の除籍が見込まれるため、減耗分を補充する必要がある。 我が国の防衛という任務を果たすためには近年の対水上レーダー、ソナー等の技術の進歩に対応して、性能の向上を図った潜水艦が必要であり、水中での航続時間を延ばすことを可能とする新推進システムや省人化を図った艦制御システム及び武器システムを搭載した潜水艦を平成16年度に整備する。</p>		

今後の対応

その他の参考情報

<p>水中での航続時間を延ばすことを可能とし、省人化を図った潜水艦は、対水上レーダー、ソナー等の技術進歩に対応するものであり、我が国防衛に有用であると評価できることから平成16年度に所要の予算要求を行う。</p>	
--	--